

地域計画

|                   |                |
|-------------------|----------------|
| 策定年月日             | 令7年3月24日       |
| 更新年月日             | ( )            |
| 目標年度              | 令和16年度         |
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 会津美里町<br>07447 |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 小山地区<br>( 小山 ) |

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

|                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)       | 24.3 ha |
| ① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積               | 24.3 ha |
| ② 田の面積                               | 11.2 ha |
| ③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)                     | 13.1 ha |
| ④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計        | 4.7 ha  |
| ⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計 | 0 ha    |
| (参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計         | ha      |
| うち後継者不在の農業者の農地面積の合計                  | ha      |
| (備考)                                 |         |

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・当該集落は、平成3年に区画整備事業が完了し、以後、水稻を基幹作として農業が行われてきた。  
 ・集落内の農家は自給的農家や兼業農家が多く、主な耕作者は隣接地域からの入り作となっている。  
 ・農道や水路、ため池の管理については管理組合が行っているが、高齢化や後継者不足により現状を維持することが困難な状況になってきている。  
 ・鳥獣害被害も増加傾向にあり、個人対応のため管理に係る労力及び費用が負担となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・集落内において耕作者の確保が困難であることから今後も近隣の集落からの耕作者を確保し、農地の適正管理に努める。  
 ・規模拡大を希望する農業者の意向を確認しながら農地の集積・集約を進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

|  |      |   |             |
|--|------|---|-------------|
| (1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針                   |      |   |             |
| ・効率的な農用地の活用を図るため、町農業委員会と連携し、農地の集積・集約化に努める。 |      |   |             |
| (2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標    |      |   |             |
| 現状の集積率                                     | 55.1 | % | 将来の目標とする集積率 |
|  |      |   | 60.0 %      |
| (3)農用地の集団化(集約化)に関する目標                      |      |   |             |
| ・担い手への農地の集積と併せ、集約化を進めることで、団地面積の拡大を図る。      |      |   |             |

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

|   |
|---|
| (1)農用地の集積、集団化の取組  |
| ・町農業委員会と連携し、農地中間管理機構を通じて経営拡大を希望する農業者へ農地の集積・集約化を図る。                          |
| (2)農地中間管理機構の活用方法  |
| ・地域の農地の貸し借りは原則として農地中間管理機構を活用することとし、担い手の経営意向を踏まえながら効率的な営農につながる農地の集約化を目指す。    |
| (3)基盤整備事業への取組   |
| ・基盤整備事業を実施する予定はない。  |
| (4)多様な経営体の確保・育成の取組  |
| ・地域内の担い手の確保は、高齢化や後継者不足のため困難であり、地域外からの担い手等が耕作しやすい状況を構築し、持続可能な地域農業の実現を目指していく。 |
| (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組   |
| ・地域外の担い手による作業委託を進め、農作業の効率化等を図り農業経営を維持できる体制をつくる。                             |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

|                                     |           |                                     |             |                          |         |                          |       |                          |      |
|-------------------------------------|-----------|-------------------------------------|-------------|--------------------------|---------|--------------------------|-------|--------------------------|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/>            | ②有機・減農薬・減肥料 | <input type="checkbox"/> | ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> | ④輸出   | <input type="checkbox"/> | ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/>            | ⑥燃料・資源作物等 | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑦保全・管理等     | <input type="checkbox"/> | ⑧農業用施設  | <input type="checkbox"/> | ⑨耕畜連携 | <input type="checkbox"/> | ⑩その他 |

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害対策については、効果的な対応策を実施していく。
- ⑦農地や農道・水路の維持管理についても、効果的な対応策を実施していく。

